



主要な農作物の生育情報

平成26年度 第4号

(平成26年7月25日)

福島県農林水産部農業振興課



【水 稲】

7月15日現在の農業総合センターの生育調査では、草丈が平年並、茎数が本部と会津で平年並から多く、浜で平年より少なくなっています。また、幼穂形成始期は平年並から4日早まっています。

表1 水稲の生育状況 (※)

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	7月15日調査				
			草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	主稈葉齢	葉色	幼穂形成始期 (月.日)
本 部	コシヒカリ	5.15	66.9 (98%)	685 (106%)	11.3 (+0.3)	30.4 (+0.7)	7.20 (+1日)
	ひとめぼれ	5.15	65.6 (103%)	727 (107%)	11.1 (+0.1)	33.5 (-0.5)	7.11 (±0日)
会津地域 研 究 所	コシヒカリ	5.20	70.9 (98%)	664 (115%)	12.0 (+0.6)	31.1 (+1.3)	7.14 (-3日)
	ひとめぼれ	5.20	65.7 (97%)	676 (102%)	11.8 (+0.4)	36.4 (+1.7)	7.7 (-4日)
浜 地 域 研 究 所	コシヒカリ	5.9	73.9 (99%)	541 (82%)	11.1 (-0.1)	32.8 (-1.5)	7.16 (-1日)
	ひとめぼれ	5.9	69.8 (98%)	626 (92%)	11.4 (±0)	36.3 (-1.6)	7.8 (-2日)

※ 調査場所は、本部(郡山)、会津地域研究所(会津坂下)、浜地域研究所(相馬)。

葉色は、SPAD502による測定値。

()内の数字は、平年比較値を示す。

【大 豆】

農業総合センターの生育調査では、出芽日数が平年並、5葉期が平年並から4日遅れています。なお、播種期が7日遅れた浜では、出芽日数が3日短くなりました。

表1 大豆の生育状況 (※)

調 査 場 所	品 種	播植期 (月.日)	出芽期 (月.日)	出芽日数 (日)	5葉期 (月.日)
本 部	タチナガハ	6.2 (+3)	6.12 (+4)	10 (+1)	7.5 (+1)
	あやこがね	6.2 (+3)	6.12 (+4)	10 (+1)	7.4 (±0)
会津地域研究所	あやこがね	6.2 (+1)	6.10 (+1)	8 (±0)	7.6 (+4)
浜地域研究所	タチナガハ	6.17 (+7)	6.23 (+5)	6 (-3)	—

※ 調査場所は、本部(郡山)、会津地域研究所(会津坂下)、浜地域研究所(相馬)。

()内の数字は、平年比較値を示す。

【野 菜】

1 夏秋きゅうり

5月下旬定植の露地栽培は、一部地域でウイルスによるモザイク症状が見られますが、平年並みに生育しています。収穫は6月下旬から始まり、今後は本格的な出荷が見込まれています。

2 夏秋トマト

4月上旬定植の夏秋栽培は、平年並みに生育しており現在8~9段果房開花、3~4段果房を収穫中です。生育初期の低温の影響で1~2段果房に障害果が発生しましたが、現在は形状の良いトマトが収穫されています。

3 サヤインゲン

5月下旬定植の露地栽培は、平年並みの6月下旬より収穫が始まりました。乾燥の影響により一時生育が停滞しましたが、現在は順調に生育しているほ場が多いです。今後は6月上旬定植の作型において、1番成り収穫のピークを迎える見込みです。

4 夏秋ピーマン

4月下旬定植のトンネル栽培は、定植時の低温や乾燥等の影響により、生育が停滞しましたが、その後生育は平年並みに戻り、現在は順調に生育しているほ場が多いです。

5 夏秋ナス

5月中旬定植の露地栽培は、平年並みの6月下旬から収穫が始まりました。今後本格的な収穫が開始される見込みです。

【果 樹】（7月15日現在：農業総合センター果樹研究所）

1 も も

果実肥大を暦日で比較すると「あかつき」の縦径は59.9mmで平年比109%、側径が64.2mmで平年比113%、「ゆうぞら」の縦径は49.9mmで平年比102%、側径が47.9mmで平年比106%と各々平年より大きい状況です。

また「あかつき」の収穫期予測は、収穫開始は8月1日頃、収穫盛りは8月5日頃で平年より1日早いと予測されます。

2 な し

果実肥大を暦日で比較すると「幸水」の縦径は45.2mmで平年比116%、横径が54.4mmで平年比116%、「豊水」の縦径は46.3mmで平年比116%、横径が52.0mmで平年比120%と各々平年より大きい状況です。

また「幸水」の収穫期予測は、収穫盛期は8月31日頃（満開後127日）で平年より2日早いと予測されます。

3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると「つがる」の縦径は57.3mmで平年比100%、横径が67.2mmで平年比103%、「ふじ」の縦径は54.1mmで平年比105%、横径が60.9mmで平年比110%と各々平年より大きい状況です。

【花 き】

1 キク類

8月咲き露地栽培の小ギクや輪ギクは、草丈や節数がほぼ平年並みに確保されていますが、気温がやや高めに経過しているため、生育は平年より進んでいます。このまま生育すれば、8月咲きはやや開花が早まる見込みです。

9月咲きは平年並みに生育しており、仕立て作業が終了しているほ場が多いです。

2 リンドウ

7月新盆向けの極早生品種の出荷は、6月下旬から順調に出荷を開始しています。早生品種の生育は、ほぼ前年並みの草丈で、7月下旬からの出荷となる見込みです。

【飼料作物】

1 牧草

牧草は、1番草において平坦部では5月下旬から、山間部では6月上旬から収穫期となり、収穫作業が行われました。収量は平年並みとなっています。2番草は、降雨による刈り遅れにより、草丈の低い地域も見られますが、7月中旬以降に収穫期となる見込みです。

2 飼料用とうもろこし

飼料用とうもろこしは、5月上旬から播種作業が行われ、8～10葉期前後で、順調に生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>